

平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名 アルテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 張能 徳博
(コード番号 9972 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員(経理部長) 池谷 壽繁
(TEL : 03 - 5542 - 6762)

特別損失、特別利益の計上および平成 27 年 11 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 11 月期（平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日）において、特別損失および特別利益を計上することになりましたので下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 27 年 1 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 11 月期（平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日）の通期業績予想（連結・個別）を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容について

平成 27 年 11 月期第 4 四半期において、以下のとおり特別損失を計上いたしました。

(1) 減損損失について

当社グループはプリフォーム事業において、事業の立て直しに取り組んで参りましたが、中国経済の減速やその影響を受けた新興国経済の鈍化等により市場環境が急激に悪化し収益性が大幅に低下いたしました。現在の事業環境や今後の見通し等を勘案し将来の回収可能性について検討した結果、連結子会社である愛而泰可新材料(広州)有限公司、佛山愛而泰可新材料有限公司、PT. ALTECH が保有する事業用資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額 997 百万円を減損損失として計上することにいたしました。

(2) 出資金評価損について

当社が保有する出資金のうち、実質価額が著しく下落しており、回復の見込みが認められないものについて、出資金評価損 17 百万円を特別損失として計上することにいたしました。

(3) 関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額について

当社の連結子会社である PT. ALTECH において、(1) の減損損失を計上することにより当該子会社の純資産が毀損することから関係会社株式評価損 237 百万円および当該子会社に対する貸付金に対して貸倒引当金繰入額 91 百万円を特別損失として計上することにいたしました。

なお、連結業績においては、関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額は連結消去さ

れるため、特別損失の計上はございません。

2. 特別利益の計上およびその内容について

平成27年11月期第4四半期において、以下のとおり特別利益を計上いたしました。

(1) 投資有価証券売却の理由

財務体質の向上および保有資産の効率化を図るため。

(2) 投資有価証券売却益の発生期間

平成27年11月

(3) 投資有価証券の売却の内容

売却株式：当社保有の上場有価証券7銘柄

売却益：179百万円

3. 業績予想の修正について

(1) 平成27年11月期連結業績予想の修正（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	18,000	250	150	100	5.83
今回修正予想(B)	15,810	168	△104	△998	△58.23
増減額(B-A)	△2,189	△81	△254	△1,098	
増減率(%)	△12.2%	△32.8%	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	16,235	288	205	133	7.81

(2) 平成27年11月期通期個別業績予想の修正（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	11,000	200	150	100	5.83
今回修正予想(B)	10,046	110	432	235	13.73
増減額(B-A)	△953	△89	282	135	
増減率(%)	△8.7%	△45.0%	188.1%	135.4%	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	9,652	47	56	59	3.47

(3) 修正の理由

(連結業績について)

連結売上高については商社事業において、一部大型機械の検収時期が遅れたことに加え、プリフォーム事業において、中国およびインドネシア経済の成長減速の影響等により受注状況が悪化したことから前回予想を下回る見込みであります。

損益面については、継続的なコスト削減に取り組んだものの売上高減少による影響を吸収できず営業利益は前回予想を下回る見込みであります。経常利益については、プリフォーム事業における国内移管作業による稼働が当初予定より遅れたことから開業費負担が発生し、前回予想を下回る見込みであります。当期純利益については、2.の「特別利益の計上およびその内容について」に記載のとおり投資有価証券売却益を特別利益に計上したものの1.の「特別損失の計上およびその内容について」に記載のとおり減損損失等を特別損失に計上いたしました結果、前回予想を下回る見込みであります。

(個別業績について)

売上高については、一部大型機械の検収時期が遅れたこと等により前回予想を下回る見込みであります。

損益面については、上記の検収時期の遅れ等により営業利益は前回予想を下回る見込みであります。経常利益については、持分法適用会社からの受取配当金（連結消去）を計上したことにより前回予想を上回る見込みであります。当期純利益については1.の「特別損失の計上およびその内容について」に記載のとおり関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したものの、2.「特別利益の計上およびその内容について」に記載のとおり投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと等から前回予想を上回る見込みであります。

以 上